

【様式】

令和5年度 学校マネジメントシート

学校名（ 三重県立津工業高等学校 ）

1 目指す姿

(1)目指す学校像		校訓『質実剛健』のもと、「ものづくり、ひとづくり」を通し、「志、技、心」を育み、生徒の夢を実現し、次代の産業界を担う人材を輩出する学校
(2)	育みたい 児童生徒像	○ 基礎学力と、工業に係る専門知識・技術を身に付けた、明確な目的意識を持ち、自己の進路実現に向かって努力する生徒 ○ 確かな知識・技術と、規範意識やコミュニケーション力等の社会人基礎力を身に付けた、地域や企業の期待に応えられる生徒 ○ 基本的生活習慣の確立した、当たり前なことを当たり前に行える態度と、相手を思いやり、命を大切にする人権感覚を身に付けた、心身ともにたくましく、心豊かで、社会に貢献できる生徒
	ありたい 教職員像	○ 目指す学校像の実現に向け、コミュニケーションの円滑化を図りながら、互いに協力して取り組む教職員 ○ 仕事にやりがいを感じ、生徒の成長を自らの喜びとするとともに、自らも成長しようと努力を惜しまない教職員

2 現状認識

(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		<生徒> 自己実現への支援（授業、進路、資格取得、部活動） <保護者> 子どもたちの充実した高校生活（安全・安心、学習活動、部活動、進路実現） <企業・大学> 実践力を高める教育 （コミュニケーション力、知識・技能、規範意識、社会的マナー） <地域> 学校の施設と教育力の提供（協働、参画、防災拠点）
(2)連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	<家庭・保護者> 充実した高校生活と、学校の取組等の情報提供 <中学校> 学習連携（出前授業等）、専門教育の学習内容、部活動等の情報発信 <企業・大学> 社会人基礎力と学力、専門技術（知識・技能、学習意欲）の習得 <地域> 地域活性化にむけた連携と学校施設の開放
	連携する相手への要望・期待	<家庭・保護者> 本校教育方針への理解と協力 <中学校> 継続的・効果的な指導のための情報共有 <企業・大学> 雇用の拡充、外部教育力、学校評価、インターンシップ受入等についての連携、専門教育の公開や専門技術の提供等教育活動への参画と支援 <地域> 教育活動の理解・支援
(3)前年度の学校関係者評価等		・数値目標（指標）による客観的評価を増やす。 ・行動計画の人権教育の取組内容について、教育活動についても具体的取組に触れることによって、より解りやすくしていく。
(4)現状と課題	教育活動	・教員間の連携を深め、いじめ防止や教育相談・特別支援教育の更なる充実を図り生徒一人ひとりのきめ細かい把握と支援を進めていきます。 ・基礎学力の向上・定着に加え、1人1台学習端末の活用を積極的に行い、コミュニケーション力の向上の取組を進めていきます。 ・ICTを利活用した効果的な学びの取組を進めていきます。

	学校運営等	・「信頼される学校であるための行動計画」の実践を通して、互いに尊重され、信頼し、協力しあえる職員集団を目指します。 ・本校の強みであるものづくり教育や活発な部活動等、特色ある教育活動を県内の中学生をはじめとした、地域の方々に対して、わかりやすいPR活動に努めます。 ・オンラインミーティング等の新しいICTを活用した業務改善を進めます。 ・県の「学校における働き方改革の推進」の取組に沿って、定時退校日や部活動休養日の設定等の業務改善を実施し、教職員の過重労働の解消を目指します。
--	-------	---

3 中長期的な重点目標

教育活動	○ 建設工学科 土木事業に携わる土木技術者、建築現場における監督や設計技師等の建築技術者を目指し、共通の専門科目とともに、建築コースと都市システムコースのそれぞれに必要な専門知識・技術を学びます。 ○ 電気科 実社会で活躍できる力を身に付けることだけでなく、電気工事士等の国家資格の取得も目指し、発生（発電）・送電・配電等の電気に関する基礎的な知識から応用技術までを幅広く学びます。 ○ 電子科 電子部品が小型・軽量化され、電子回路も複雑化した情報化社会に求められる人材を目指し、電子回路、有線や無線等の通信技術、制御や情報技術等の組み込み技術を、基礎的なところから学びます。 ○ 機械科 オートメーション化が進展し、NC工作機械やマシニングセンター等の先端的な技術者が求められる産業界に対応することを目指し、「ものづくり」の基礎から応用まで、勤労の精神を重んじながら、幅広く学びます。
学校運営等	① 基礎学力の向上を目指し、授業内容を充実するとともに、授業公開や授業研究に取り組み、教職員の資質向上に継続的に取り組みます。 ② 活力ある学校組織を構築するため、教職員が意欲的に業務に取り組み、充実感を得ることができるよう、働きやすく風通しの良い職場環境の整備や業務改善、組織の見直し等に取り組みます。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育（進路指導）」「生徒指導」「保健管理」等

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導の充実	○ 教務 基礎学力の向上・定着を目指した学習指導を検討、計画します。 【成果指標】授業の振替を徹底し、自習をクラス平均4回以下/年にする。 【活動指標】基礎学力テストを1・2年生は年3回、3年生は年1回実施し、学力状況を把握し、補習等の対策をする。 【成果指標】基礎学力テストの結果、最低位ランク（ゾーン）の生徒数が前回よりも減っている。 ○ 学科 【成果指標】技能検定等資格試験の合格率向上を目指します。	・当日の時間割の振替を行うなどして、ほぼ自習をゼロにすることができた。 ・補習対象者も増加傾向であるが、実施時期の見直しで計画どおり実施しました。 ・最低位ランクの生徒数が通年では微減しました。	◎
キャリア教育の充実	○ 進路指導 (1) 基礎学力向上と社会人としての資質向上（コミュニケーション能力、基本的生活習慣、資格・技能の修得）を促します。	・計画した基礎学力テストや進路ガイダンスを行うことが出来ました。（基	◎

	(2) 生徒の自己理解を基盤とし、主体的な目標設定と進路設計を促します 【成果指標】基礎学力テストの結果、最低位ランク（ゾーン）の生徒数が前回よりも減っている。 【活動指標】進路ガイダンス等進路行事各学年3回以上実施します。 【成果指標】就職内定率100%を目指します。	礎学力が不足している生徒が増加傾向にある。） ・最低位ランク（ゾーン）の生徒数が通年では減少しました。 ・進路行事等は各学年とも3回以上実施。学年末に全校一斉の「進路を考える週間」を設定しました。 ・就職内定率100%	
生徒指導	基本的生活習慣の確立を目指します。 【成果指標】遅刻・授業中の入退出件数が減っている。	・入退室の件数、遅刻者ともに減少しました。	※
人権教育	(1) 仲間づくりの輪を広げ、人権文化の確立に向けた校内の動きを創造する。 (2) 人権LHRの充実に取り組む。 【活動指標】公開人権LHRの実施	・人権LHRは計画通り実施できました。人権通信を行事の前後で発行、意識付けと振り返りを紙面の中で行いました。	
教育相談	個々の生徒の悩みに応じた教育相談に努めます。 【活動指標】困り感の有る生徒をスクールカウンセラーや発達障がい支援員へつなげていきます。	・教育相談件数の増加がみられました。 ・発達障がい支援員についても、ほぼ月2回のペースで派遣要請を行い、生徒、保護者、教員の支援を行いました。 ・月に1度「スクールカウンセラーたより」を発行しました。	◎
保健管理	(1) 心身ともに健康で安全な生活を主体的に送れるように、基本的生活習慣の育成に努めます。 (2) 健康診断や健康相談等を通して、自らが健康状態を把握し、健康の保持増進を努める態度の育成に努めます。 【活動指標】外部講師に保健講話を実施します。	・「ほけんだより」の発行、「治療勧告」「健康診断結果のお知らせ」の通知、始業式・終業式による保健指導を行いました。 ・保健室へ来室した生徒には、自分の体は自分で守ることができるように指導を行いました。 ・各学年1回ずつ外部講師による性教育講話を実施しました。	※
改善課題			

今年度、経済産業省の「未来の教室」実証事業に参加し、ICTを活用した基礎学力向上と授業改善に取り組んだが、事業開始時期が遅れていたため効果の検証が不十分であった。次年度も継続的に取り組み、計画的に効果の検証を行う必要がある。また、キャリア教育や専門教育においても授業内容を充実するとともに、授業研究や、教職員の資質向上のための業務改善に継続的に取り組むことが必要がある。

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」等
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」:定期的に進捗を管理する取組 「◎」:最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
情報提供	○ 教務 各部・学年・教科との連絡調整を密にし、学習環境の整備を推進します。 【活動指標】定期的に連絡会議(学習指導委員会)を開催します。	・ICTを活用した成績管理を推進し、学習環境を改善しました。 ・学習指導委員会を計画通り実施しました。	
地域との連携	○ 進路指導 進路指導部が変化する社会の環境に対応しつつ、求人数の確保につなげることで信頼関係を得ます。 【成果指標】求人数の拡大に努めます。 ○ 生徒指導 (1) 家庭や地域社会との連携 (2) 交通道德・マナーの向上 【活動指標】職員による登校指導(毎日)	・求人数は前年比20%増で2251名、過去最高となりました。 ・生徒指導部を中心に毎日登校指導を実施するとともに、定期的に校外での通学指導を行いました。	◎
資質向上の取組	○ 人権教育 教職員の研修体制の充実に努めます。 【活動指標】人権教育推進会議(年間4回) ○ 教育相談 (1) 担任及び他の分掌との連携を図りながら一人ひとりの生徒に対応できる体制をつくります。 (2) 特別支援教育を推進します。 【活動指標】教育相談・発達障がいに係る職員研修を行います。	・人権LHR実施に伴い、指導案検討など職員研修を実施しました。 ・計画回数を超え、人権教育推進会議を実施しました。 ・スクールカウンセラーや、発達障がい支援のサポートを受けながら、教員間で連携しながら、支援が必要な生徒へ対応出来ました。 ・発達障がい支援員による職員研修会を行いました。	
組織運営	(1) 総勤務時間の縮減に努め、働きやすい職場を目指します。 (2) 打ち合わせ、会議の効率化を進めます。 (3) 円滑かつ確実な業務の遂行のため、データの電子化を促進します。 (4) 学校における働き方改革を推進します。	・オンライン会議や会議資料のデータによる事前配布を進めました。 ・多数の職員が参加する全ての会議について60分以内に終了	※

	・有給休暇等を取得しやすい体制を整えます。 ・効率的な学級運営、意見の集約に努力し、きめ細かい情報の共有、お互いにフォローしやすい環境作りに努めます。 【活動指標】 ・会議の効率化（60 分以内/1 回） ・定時退校日の実施（1 日/月） ・部活動休養日の設定（1 日/週） ・夏季休業期間中の閉校日の設定（1 日） 【成果指標】 ・一人当たりの平均年休取得を 10 日以上 ・年 360 時間、月 45 時間を超える時間外労働者を 0 人とします。 ・一人当たりの月平均時間外労働時間を 30 時間以下にします。	しました。 ・定時退校日、部活動休養日、学校閉校日は計画通り実施できた。 ・年休取得日数は 14 日（1～12 月）でした。 ・月 45 時間を超える時間外労働者は 9.4 人/月（令和 4 年度は 9.6 人/月） ・時間外労働時間は 19.4 時間（4～2 月）でした。	
--	---	---	--

改善課題

今年度は学校教育活動がコロナ禍以前に戻ってきたため、業務量が増加している。結果として時間外労働の増加や年休の取得率の低下が見受けられました。そのため、増える一方の日常業務について、業務の精選による業務改善に取り組み、働きやすい職場環境の整備や組織の見直し、相談体制の整備などに取り組む必要があります。

5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	・数値目標（指標）による客観的評価を増やしていく。 ・人権に関する取組内容・手法にも触れることによって、より解りやすく具体的にしていく。 ※令和 5 年度は最終の学校関係者評価委員会を開催することが出来なかったため、年度当初に伺った改善課題を掲載
---------------------	---

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	・ICT を活用し情報の共有化を進めることで教員間の連携を深めて、生徒一人ひとりのきめ細かい把握と支援を進めていきます。 ・1 人 1 台学習端末の活用した基礎学力の向上・定着を進めていきます。 ・「未来の教室」実証事業で取り組んだ、ICT を利活用した効果的な学びやコミュニケーション力向上の取組を深化させていきます。
学校運営についての改善策	・「信頼される学校であるための行動計画」の実践を通して、互いに尊重され、信頼し、協力しあえる職員集団を目指します。 ・本校の強みであるものづくり教育や活発な部活動等、特色ある教育活動を ICT 活用により中学生をはじめとした、地域の方々に対して発信します。 ・オンラインミーティングなど新しいツールを活用した業務改善を進めます。 ・県の「学校における働き方改革の推進」の取組に沿って、定時退校日や部活動休養日の設定などの業務改善を実施し、教職員の過重労働の解消を目指します。